

市政に対する一般質問

12月
3・4・7・8・9日

発言順

土屋 俊博

(改革みしま)



駿豆水道中島浄水場

■三島市の水道事業の健全経営における諸課題

- ◎ 県営駿豆水道における契約水量と実使用水量に差がある。その解消に向けた市の対応を伺う。
- ◎ 水道水の販売損の発生や老朽管・老朽施設の更新に、今後多額の資金を必要とするなど多くの課題があるが、その対策を伺う。
- ◎ 県営駿豆水道の受水費の低減交渉やさらなる経費の節減、効率的な事業運営などを行うとともに、平成28年度に水道事業審議会を開催し、適正な水道料金をはじめとしたさまざまな問題について審議していきたい。

◎ 関連する2市1町で平成26年度に駿豆水道利用者協議会を立ち上げ、首長の連名で静岡県企業局に要望書を提出した。現在駿豆水道利用者協議会運営部会で契約水量の見直しや基本料金の減額に向けた交渉を行っている。

服部 正平

(日本共産党議員団)

【他の質問事項】

- 住民サービス低下を防ぐ職員の労務管理



■自主運行バスの利用促進

- ◎ 費用対効果を考え、現在3路線ある自主運行バスの運行経路、形状を見直す中で、空白路線への新たな運行を検討できないか伺う。
- ◎ 費用対効果を考え、現在3路線ある自主運行バスの運行経路、形状を見直す中で、空白路線への新たな運行を検討できないか伺う。
- ◎ 自主運行バス事業は、赤字路線を理由とした民間事業者の撤退を受けて事業化している。路線の拡張などを行うと、市負担額の実質的な増加を招く恐れとともに、既存利用者へのサービス低下が危惧され、慎重な対応が必要と考える。

■高齢者バス等利用助成事業の利用拡大

- ◎ 高齢者のさらなる外出支援策として、公共交通空白地域の居住者がタクシーを利用できるようにすべきではないか。
- ◎ タクシー利用は、高齢者の外出支援の一助となると考えられるが、助成の拡大に向けては、財政負担が大きいことから、今後研究し、判断していく。

伊丹 雅治

(改革みしま)



三島市 TPP 対策会議

■三島市における TPP の影響と対応

- ◎ 地域経済全体を考える上で、当市は TPP に対し、どのような対応をするのか。
- ◎ J A 三島函南や三島商工会議所など関係団体に市を加えたメンバーで、仮称三島市 TPP 対策チームを設置して市場動向の分析や対応策などを検討し、その結果を三島市ががんばる中小企業応援会議や J A と調整の上実施する。

■三島市商工業戦略アクションプラン

- ◎ 箱根西麓地域の新たな観光資源である箱根西麓・三島大吊橋から市街地へ誘客する施策はあるのか。
- ◎ 大吊橋やフルーツパークの施設内に大型看板を設置し、市街地の魅力を PRするとともに、大吊橋のバス停新設や路線バスの増便、定額タクシーの運行など、各事業者の協力により交通網の充実に努め、市内への誘客に取り組む。

弓場 重明

(フォーラム三島)



南二日町広場

■三島市スポーツ行政の現状と課題

◎施設・空間の環境づくりの一環として、三島市スポーツ施設整備計画にある総合運動場建設の現状と今後について伺う。

▲総合運動場の整備については、平成26年度に総合運動公園可能性調査を実施し、分散型での整備を視野に入れて候補地の選定を行うなど、整備の可能性について調査・検討を継続している。

◎三島市スポーツ審議会としては、三島市のスポーツをどのように位置付け、どの方向に導いていこうとしているのか伺う。

▲現在審議会に諮問している仮称三島市スポーツ推進計画では、スポーツの定義をレクリエーションスポーツや健康づくりなどを含む幅広い概念として捉え、健幸都市づくりの一翼を担うものとして審議していただいている。

藤江 康儀

(改革みしま)



三島駅北口ロータリー

■三島駅北口広場ロータリーの拡幅

◎三島駅北口付近の渋滞緩和策として、貨物引込線を購入し、ロータリー拡幅など整備をしてはどうか。

▲将来的には貨物引込線を含めたロータリーの拡幅整備を考えているため、用地を取得し、当面は北口広場から車両が通り抜けできるための市道として整備し、ロータリー内の交通混雑の緩和を図りたい。

■子育て世代施策

◎待機児童ゼロをめざし、市内の保育園の拡充と、公立保育園の一時預かり保育について伺う。

▲三島市子ども・子育て支援事業計画により新設民間保育園1園と、定員増を行う民間保育園1園の施設整備を行い、平成29年度に90人の受入枠拡充を図る。公立保育園の一時預かり保育はニーズが高く、今後全園での実施を検討する。

大房 正治

(緑水会)

【他の質問事項】

□今後の三島市の観光資源の発掘



三島駅南口東駐車場

■三島駅南口東街区開発の進捗状況

◎市民の関心が高い三島市の顔である三島駅南口東街区の開発において、地権者との話し合いの合意状況について伺う。

▲組合施行の市街地再開発事業において地権者の合意は最も重要であるため、個別意向調査の実施のほか、再開発通信発行や戸別訪問の実施など、定期的な意向・意見の把握と情報共有により、合意形成に努めている。

■人口減少問題解決のための子育て支援

◎保育料は兄弟姉妹が3人以上通園の場合3人目は無料だが、兄弟姉妹の通園に関わらず第3子以降は無料にしてはどうか。

▲三島市では保育園保育料を国の基準から平均約40%軽減しており、保育園を利用するすべての家庭の経済的負担軽減に努めている。さらなるサービスは、現在の三島市の財政状況では難しく、今後検討していきたい。

18人の議員が行った主な質問について、寄せられた原稿を掲載します。